

発行：ひとちなかの環境を良くする会
 編集：広報委員会
 住所：〒312-8501 ひとちなか市東石川 2-10-1
 TEL：029-273-0111 内線 3312, 3313
 FAX：029-272-2435
 E-MAIL:kankyo@city.hitachinaka.l(エル)g.jp

環境から版

環境シンポジウム開催

環境活動を広め、続けるためには

平成22年度の「ひとちなか市環境シンポジウム」を1月29日(土)午後1時30分からワークプラザ勝田にて開催し、約200名が参加しました。
 今年度は、初の試みとして小・中学校の児童・生徒も参加するパネルディスカッションと、豪華賞品の当たる全員参加の環境〇×クイズを行いました。

渡辺憲会長と本間源基市長の挨拶に続き発表が行われました。

津田小学校5年生は「早戸川の自然を探る」と、早戸川の流速・水質・生息動物・野鳥などの観察記録と夢あふれる早戸川の未来図の紹介など。

佐野小学校2年生は「佐野小のECOを探そう」と、地球温暖化と大気や水の汚染・リサイクル活動の紹介・グリーンカーテンの実践・チャレンジ25宣言など。

阿字ヶ浦中学校スカシユリ研究班は「地域に残る貴重な自然の保護活動(9年次)」と、受け継がれている自然保護活動・沢田湧水池の観察・スカシユリ栽培実験報告・今後の予定など。

東中根団地自治会は「エコチャレンジ2009参加結果」と、エコチャレンジ宣言・活動実態・大好きいばらき「エコチャレンジ2009全員取組賞受賞」の紹介など。

小松製作所は「コマツグループ及び茨城工場の環境・社会活動」と、企業紹介・茨城工場及び製品紹介・国際社会貢献・CO2排出削減推移などについてそれぞれ発表しました。



津田小学校の発表



阿字ヶ浦中学校の発表



佐野小学校の発表

5つの発表が終了。引き続きパネリストに茨城大学原口弥生准教授を招いて行いました。パネラーとなった発表団体代表者・本会会長の熱心な意見交換がありました。

最後には、事業所会員のご好意の品々を賞品に「環境〇×クイズ」を行いました。高圧洗浄機・非売品の地雷除去機のみニチュア・有機栽培かんそう芋・・・などなど豪華な賞品が並びました。

発表者の皆様、後援頂いた方々、参加頂いた皆様、誠にありがとうございました。

会員を募集しています
 会員を募集しています。市内に在住、通勤、通学している方(個人又は家族)。市内で活動している団体、事業所。

・年会費(1口以上)	
個人・家族会員	1口 500円
団体会員	1口 1,000円
事業所会員	1口 2,000円

本会 HP 管理者
 公募中!!
 応募は E-mail で

『ひとちなかの環境を良くする会』は、市民、民間団体、事業者及び市が互いに協力し、より多くの市民や事業者が、身近な自然や環境を大切にすることを育むとともに、環境保全行動の定着を図るため活動しています。
 具体的な活動を計画し実行するのは、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の3つの分科会が中心となっています。より多くの市民や事業者が参加・行動できるような事業を行いたいと張り切っています。

活動のようす
温暖化防止分科会

恒例になった『冬の温暖化防止キャンペーン』を1月21日に勝田駅で実施。役員・市職員の方の協力を得て(13人参加)、早朝の通勤時に温暖化防止を呼びかけました。道行く方に「ご苦労さま」の一言もいただき、清々しい冬の朝のひとつきでした。



温暖化防止キャンペーンのようす

また、年間計画のひとつ、他市町村の環境団体との交流会を2月4日に実施しました。つくば環境スタイル計画などを実施している、先進都市つくば市。『つくばエコライフフレンズ』は、レジ袋削減運動をきっかけに2007年結成された市民と学生で構成されたグループです。エコドライブフォーラム(企業の実践報告もあり)や、キャンドルナイトの企画(市内の飲食店がキャンドルナイトデザイナー協賛店として参加)等、今後の私たちの活動の



つくばエコライフフレンズとの交流会のようす

参考となるような内容でした。当日会場には、信州大学の工学博士でもある代表の宮澤伸一さんが作られたオリジナルキャンドルが灯されました。使用済みの油をそのまま使った優れたもの、香りの出る機能もプラスされ、心地良いコーヒーの香りが会場いっぱいになりました。来年度は是非つくばでの交流会も企画しましょうと約束し、楽しい交流会を閉じました。



活動のようす
自然環境分科会

5月の「多良崎城址自然観察会」をかわきりに「ヤクルト容器による名平洞浄化」、2度実施してきた「美田多風致地区の孟宗竹林整備」、西原昇治ひたち野自然観察会会長をお招きしての「環境講座」などを通し、自然環境保全の意識啓発と実践活動ができた22年度でした。

「ひたちなか市の環境を良くする会」の地道な活動を、多くの市民の方々に知って頂き、参加頂けるように、各種催しの開催曜日や時間帯を研究し、更に開催地域の自治会などとの緊密な連携を構築する仕組みなども、分科会内で検討が大切と考えています。



森林保全作業のようす



森林保全作業のようす



間引いた後の竹林

23年度に取り組む新事業は他の分科会との融合による協働を念頭に、5,000人超の会員が、笑顔で参加したくなるような自然環境分科会を目指したいと思えます。

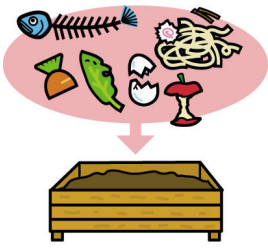
活動のよす
「ごみ問題分科会」

ごみ問題分科会では、ごみ減量の一つである生ごみの堆肥化に向けて企画書の立案に取り組み、ようやく市に企画書を提出することができました。平成23年秋には堆肥作りができそうです。当初1年は実証試験とし、堆肥製造場所はその珂湊清掃センターの倉庫を市が提供して下さることになりました。生ごみは近くの学校給食の残渣と近隣の市民に声かけをしてご協力いただけるもの(検討中)で始めてみるつもりです。

開始までの月割計画を立て、検討すること、交渉すること、広報すること、改めて勉強すること等山積している問題を分科会員全員を知恵を結集して準備を進めたいと思っております。

生ごみの堆肥化は、市が計画しているバイオオマスタウン構想の重点施策に挙げられています。行政でなければできないこと、市民だからこそできること、それぞれの立場から協働し、生ごみリサイクルが主役の循環型社会の実現を目指して第一歩を踏み出していききたいと思います。

皆様のご協力よろしくお願いたします。



会員企業訪問

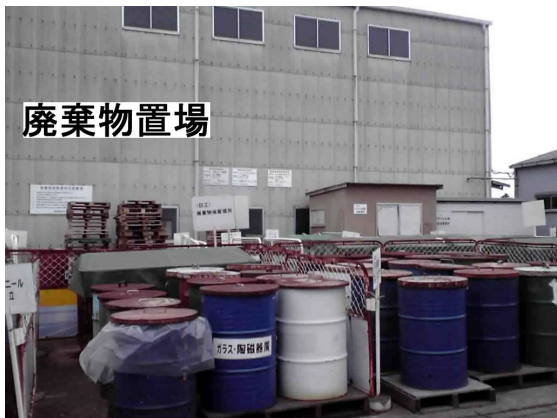
企業活動と環境保全活動の調和を図って。

日立工機株式会社

今回は、電動工具およびライフサイエンス機器を製造している日立工機株式会社 勝田工場(市内武田)を2月14日に広報委員5名で訪問取材しました。

日立工機グループは、企業活動と環境保全活動の調和を図って環境経営を推進しています。

実行面では毎年綿密な環境行動計画を立て、「グローバル環境管理」「エコプロダクツ」「環境に配慮した工場とオフィス」「ステークホルダーとの環境協働」の全般にわたり活発な環境活動を推進しており、多くの成果を得ていました。



【グローバル環境管理】では、ISO14001環境マネジメントシステムについて、全国73サイトに認証を取得し、活動しているとのことです。

【エコプロダクツ】では、環境適合製品の拡大を推進しており、2009年度の累積機種数は749機種、売上高の71%(国内)を占めています。

【ステークホルダーとの環境協働】の中で、「ひたちなか市産業交流フェア」への参加展示による環境コミュニケーション、また、市内小中学校の「社会科見学」や「企業体験学習」の受入れによる社会貢献活動を進めていました。工場敷地内には、工場から出る廃液を処理する排水処理室、および廃棄物を分別して保管する廃棄物置場を設置していました。

今後多くのシーンで「ひたちなか市の環境を良くする会」と協働して行きたいという嬉しいお話を頂きました。



エ〜コとしてる話

バブル時代に建てられた西大島のマンションに住むISさん、住民の方々に、過剰照明と感じられる共用スペースについての省エネを提案したが「管理費を払っているのだから」と、多くの反応はイマイチ。そこで共感者と2人で蛍光灯を間引き、1ヶ月の電気使用量を比較し、見事に15%削減でき、県のエコチャレンジにエントリーし、受賞!

すばらしい!

ITさん、WTさんと一緒に大拍手! 2月某日、友人3人と一緒にボランティア活動中でのうれしいエピソード

(会員Kさん投稿)

より静かに、使いやすく

- 静かな運転音で快適作業
- 排出ガスゼロ



環境適合製品
コードレス刈払機
CG 14DSL

日立工機(株) 製品紹介

環境かわら版

チャレンジ25キャンペーン ～ 6つのチャレンジ～

☆地球温暖化はあなたの選択で防止できます

- 1 エコな生活スタイルを選択しよう
クールビズ、MY バッグなど
- 2 省エネ製品を選択しよう
LED 電球、エコカーなど
- 3 自然を利用したエネルギーを選択しよう
太陽光発電、風力発電など
- 4 ビル・住宅のエコ化を選択しよう
高断熱構造、複層ガラスなど
- 5 CO₂削減につながる取組を応援しよう
地産地消、カーボンオフセットなど
- 6 地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう
地域の環境イベントなどに参加

出典：環境省



西原 昇治 氏



環境講座のようす

環境講座『なか台地の自然環境く大地と水を愛したマンモス』を平成22年12月11日(土)大島コミュニティセンター・研修室で開催しました。ひたち野自然観察会長である西原昇治氏を講師に迎え、市民と会員合わせて約50名が参加しました。私たちが居住するなか台地の自然を空、地下、湊線、水、地層、宮崎アニメなどから再発見し、地元の自然を見直す良い機会となりました。

環境講座開催

意見交換会開催

第3回意見交換会を平成22年12月11日(土)に大島コミュニティセンター・研修室で開催しました。約30名の会員が集まり各分科会から来年度の事業計画(案)について発表がありました。また、環境を良くする会全体の事業として環境まつり(アースデイ、ひたちなかECCOチャレンジなど)について会員同士意見交換を行いました。



意見交換会のようす

定例総会を開催します

日時：平成23年4月16日(土)
午前10時から
会場：ワークプラザ勝田2階大会議室
議題：決算、予算、事業計画など
※会員(当日入会者を含む)の参加をお待ちしております。また、傍聴もできますので関心のある方はぜひ参加をお願いします。

広報委員の環境 かわら版への夢・希望

今回は、生活に活用できるどんな内容の記事が載っているか楽しみで、保存しておきたい、こんな新聞にしたい
(中村)

読者が環境に関心をもち何か実践活動を始める。そんな人の心を動かす様な紙面を希望
(渡辺(祥))

環境かわら版が「ひたちなか市の環境を良くしたい」と願っている皆の架け橋的存在でありたい
(阿部)

私が環境関係に取り組んだのは市民憲章推進協議会の環境部会員に加わった年からです。街角花壇花植えなどでした
(山口)

えっ、それやったの？おっ、それやるんだ！読むたびによいことわかるかわら版
(渡辺(晃))

第1面は会員によるリレー随筆と、良くする会の計画案内、第4面は県その他からの環境コラムと、4コマ漫画を掲載する
(飯村)

家族で環境創造を共有できるような、子供たちの環境活動が掲載される広報紙
(大畑)

目指していることは何なのか、はつきりと感じよう。目標達成をイメージする習慣をつけ、情熱が薄れないよう心の中で意識し続けよう
(渡邊)

多くの人が環境活動に参加頂ける広報をまじめに、ひたむきに行う事
(若林)